

栃木県歴史文化研究会「編」

歴史と文化

第33号

contents

大会関連論考

柏村祐司「里山の民俗 ―里山復活の意義」

特集

栃木県の鉄道

研究論文

荒川善夫「戦国期下野那須資胤から資晴への代替わり考」

研究ノート

水沼良浩「独立直前の濱田庄司が取り組んだ仕事の一例
―大阪赤十字病院南病棟落成披露式の記念陶器をめくって」
原田敏行「大貫芳一郎の木版画作品について」

史料紹介

富金原拓馬「近世前期の宇都宮戸田家家臣団
―「三州田原御在城分限帳」の紹介」

歴史随想

山口耕一「法令遵守と文化財保存活用の問題」

2024

とちぎの「ひと」コマ



「紅鹿チーム」

(昭和20年代、個人蔵)

昭和25年頃、鹿沼芸妓屋組合の芸妓たちにより野球チーム「紅鹿」が結成された。戦後、占領政策の遂行を容易にするため、GHQによる「3S政策」が採られたといわれるが、スポーツが日本の民主主義化促進のための有効な手段と位置づけられたことは各種資料から明らかである。昭和20年11月にはプロ野球が復活し、昭和23年には女子プロ野球チーム「東京ブルーバード」が誕生した。県内では昭和24・25年の都市対抗野球に鹿沼市の古澤建設が連続出場するなど躍進した。一方、国内の食料需給が安定し「飲食営業緊急措置令」も解除され、花街にも賑わいが戻り始めた時期とも重なり、こうした時代背景が芸妓たちの野球チーム結成の追い風となったであろう。彼女たちが着用するユニフォームは市内実業団チーム「若人クラブ」からの借り物であり、男性チームとの交流がうかがわれる。その笑顔から戦後の自由と平和を謳歌する時代精神の表れを感じ取することもできよう。(野中富弘)

目次

巻頭言 雑感

篠崎茂雄 2

大会関連論考

里山の民俗―里山復活の意義

柏村祐司 3

特集 栃木県と鉄道

「栃木県と鉄道」にあたって

重藤智彬 21

栃木県内の鉄道敷設

―芳賀地域の鉄道敷設を例に

両毛鉄道と安蘇馬車鉄道・佐野鉄道

岩下祥子 32
茂木克美 22

研究論文

戦国期下野那須資胤から資晴への代替わり考

荒川善夫 42

研究ノート

独立直前の濱田庄司が取り組んだ仕事の一例

―大阪赤十字病院南病棟落成披露式の記念陶器をめぐる

大貫芳一郎の木版画作品について

水沼良浩 50
原田敏行 58

史料紹介

近世前期の宇都宮戸田家臣団

―「三州田原御在城分限帳」の紹介

富金原拓馬 65

歴史随想

法令遵守と文化財保存活用の問題

山口 耕一 77

活動記録

栃木県歴史文化研究会活動の記録

79

各種情報欄

文献情報(図書一覧・研究論文一覧)

81

令和五年度新規指定等文化財一覧

90

歴史と文化 第三十三号

二〇二四年八月二四日発行

編集・発行 ● 栃木県歴史文化研究会

〒三三〇—〇八六五

栃木県宇都宮市睦町二—二

栃木県立博物館内

☎〇二八(六三四) 一三三三

(振込口座) 〇〇三〇〇—一一九二〇七

発売 ● 有限会社 随想舎

〒三三〇—〇〇三三

栃木県宇都宮市本町一〇—三

☎〇二八(六一六) 六六〇五

印刷所 ● 株式会社TOP印刷